

未来を歌に～伊里前小学校・名足小学校 みんなでがんばった一年が歌になった



▲伊里前小学校の児童が作った歌の歌詞はここまで
がんばってきた大人たちへのエールにもなった。

撮影 浅田政志

伊里前小学校の子どもたちは、まわりの人たちや自分たちが震災から的一年間でがんばったことを歌にした。津波で校舎が被害を受けたため、伊里前小学校で授業を行っていた名足小学校の3・4年生は、自分たちが住んでいる町の美しさ、良さを思い出して歌を作った。

「ドレミファソラシ」のカードを首から提げて、並び替えゲームを何度か行い、そこで偶然にできあがった音の配列をメロディーにし、みんなで出し合った歌詞を当てながら、リズムを決めて歌を作った。自分たちの体験や思いそのものが歌になった。

この時期に一年を振り返ることが子どもたちを不安にさせないか、歌作りをする意義があるのかなど、先生方の懐疑的な意見もあった。しかし、その心配は吹き飛んだ。子どもたちが作った歌には、家族や地域の人たちが頑張る姿のたくましさやふるさとの美しさが詰め込まれていた。子どもたちと先生方は毎日のホームルームの時間などに、この歌を熱心に練習した。子どもたちの歌声は、力強く自信に満ち、大人たちの心を揺さぶった。



▲児童数が少ない名足小学校だったが、3・4年生の歌声は
ひとくわ大きく響き渡った。

撮影 浅田政志

「ファイト！南三陸」

作詞作曲 伊里前小学校4年1組

水くみ 手伝った
支援物資 運んだ
みんなのごはん 作った
みんなでがれき かたづけ
少ない食料 やりくり
がれきは重い
水も重い
みんなで力合わせた

仕事場なくなつた
負けずにお店つくつた
がんばりはたらきだした
流れた船 ひつぱつた
シロウオ サケ とつた

ホヤ カキ ワカメ
種を入れた
みんなで力合わせた
みんなで力合わせた
みんなで力合わせた

「しあわせなみんなのまち」

作詞作曲 名足小学校3年1組&4年1組

海がキラキラ けしきがきれい
緑がいっぱい 桜もさいてた
やさしい人がたくさん住んでる
お年寄りはとても元気
ネコもいる

おいしい給食
毎日サッカー
さかながいっぱい
あわびもいっぱい
ふねにワカメ
ドッサリのってる
ホタテ カキ